

**令和6年度 第2回 ネイパル森運営協議会
議事録**

* と き／令和7年3月25日（火）

午後13時30分～15時00分

* と ころ／ネイパル森 大研修室

【出席者】

委員 5名／西尾 聡 （森町立鷲ノ木小学校校長）
鍋谷 雪子 （株式会社 nabeya）
小出 政彦 （八雲町地域子ども会育成連絡協議会）
佐紺 摂子 （北海道森高等学校長）
丹崎 真由子 （森町社会教育委員）
事務局 2名／小野 俊英 （所長）
川崎 真也 （オブザーバー道教委社会教育主幹）

【欠席者】

委員 2名／山口 敏男 （全国林業研究連絡協議会常任理事）
須藤 智裕 （森町教育委員会社会教育課長）
（他用務と重複のため）

1 開 会 <進行／事務局>

2 開 会

出欠席者の確認、議事進行を委員長にすることの確認

3 委員長あいさつ

あいさつ

4 報告事項<進行／西尾委員長>

（1）報告1 令和6年度利用状況の報告について

事務局から、資料に沿って、令和6年度の2月末時点の利用状況を次のとおり報告。

- 2月・3月は利用者が減少したが、閑散期対策として主催事業を行ったため、利用者を確保でき、最終的に昨年度並みの利用者数を確保できる見通しであること
- 7月、1月は団体の利用が少なかった。減少の一因としてバス大の高騰がある。
- 利用者数は減少しているが団体数は増えている。団体の少人数化が進んでいる。
- 3月後半は利用団体の問い合わせが増えており、次年度への期待材料である。効果的な広報を行うことと、秋口以降の閑散期対策が過大である。

- 委員からは特段意見はなく、全ての報告内容は確認された

（2）令和6年度収支状況について

事務局から、資料に沿って、令和6年度の2月末時点の収支状況を次のとおり

報告

- 利用者数が戻らない状況で、厳しい会計事情ではあるが、徹底した節約に取り組んだこと、また、暖冬の影響で重油代が抑えられたことなどにより、昨年度より収支は改善した。
- 修繕費が大きく膨らんでおり、今後の課題となる。道教委からは体育館の雨漏り、熱中症対策の網戸設置、宿泊棟の一部の部屋の匂い対策などを対応いただいている。
- 年度末、光熱水費の高騰対応として、道教委から150万円ほどの追加配分があった。
- 余裕の分は、保留としている修繕や利用者のための物品購入などに充てたい。

○ 委員からは特段意見はなく、全ての報告内容は確認された

(3) 令和6年度下半期主催事業について

事務局から、資料に沿って、令和6年度の下半期の主催事業について次の概要を報告

- 下半期10月以降の主催事業について、取り組みの概要を事務局から説明した。
- 下半期の事業は、特に地域の団体や講師との連携により、より質の高い体験を提供できるよう心がけた。
- 特に、北海道の冬の体験を豊かにするため、七飯スノーパーク様の協力により、貴重な体験を行うことができたこと、八雲町の教育委員会との連携によりバブルボールの指導ができたこと、森町の地域おこし協力隊との連携を行ったことなどが挙げられる。

○ 委員からは特段意見はなく、全ての報告内容は確認された

5 協議事項＜進行／西尾委員長＞

(1) 協議1 令和7年度管理運営方針（案）について

所長から、令和7年度の管理運営方針の案について、運営方針文とポンチ絵により説明。

- 令和7年度は、職員の行動キーワードを「つながる」と設定し、地域人材や団体、職員同士の繋がりを意識しながら、運営を行うことを説明。

○ 委員からは、「取組の内容が具体的に示され、また、目標値も掲げられており、大変わかりやすい」との評価を得た。

○ 他、特段意見はなく、運営方針案は承認された。

(2) 協議2 令和7年度の主催事業について

事務局から、令和7年度の主催事業案について次のとおり説明

- 道教委から回数指定されている12回の事業を実施すること
- 7年度は、ボランティア育成に力を入れ、中学生のボランティア体験事業と、

通年で高校生以上のボランティアリーダー養成事業を行う。

- 地域の団体や指導者との連携を密にして、より魅力的で上質な体験活動の提供を行う。
- 委員からは、「魅力的な事業や教育効果の高い事業が計画されている」と評価を得た。
- 事業計画案は承認された。

(3) 協議3 施設利用料金及び食事料金について

事務局からから、新年度の料金設定案について次のとおり説明

- 施設使用料金は、利用者数が戻らない状況で、経営的には大変厳しい状況であるが、道教委から、来年度の負担金が400万円ほど増額される見通しであること、また、他施設で料金改定の動きもないことから、料金改定は行わないこと。
- 食事料金は、米価や野菜の高騰など、食材料費の値上げが大きく経営を圧迫しており、令和6年度も食堂部門については赤字経営の見込みであることから、値上げを行いたいこと。また、併せて、野外炊事料金や一部体験活動の料金も見直したいこと。
- 委員からは、「非常な努力をして節約に努めている状況を理解する。サービス維持のため値上げはやむを得ない」と意見があった
- 食事料金等の値上げについては承認された。

すべての議事が終了し、西尾委員長の議事進行を終了する。

以上をもって、令和6年度第2回運営協議会を終了し、解散する。